



## 教育目標

一人一人の能力を伸ばし、豊かな人間性を育てるために

○英知を養い よく考える人 ○品位を高め 礼をつくす人 ○身体を鍛え よく働く人

年度の重点目標：「自律して取り組むことができる生徒の育成」

### 【めざす生徒像】

○自ら学び、判断し、実践できる生徒 ○自らを律し、気品と思いやりのある生徒 ○自ら体を鍛え、健やかに生活できる生徒

育成すべき  
資質・能力の  
三つの柱

#### 「何を学ぶか」

#### 「何ができるようになるか」

#### 「どのように学ばせるか」

実際の社会や生活で生きて働く力  
(知識及び技能など)

- ①基礎・基本の知識・技能の確実な定着
- ②授業や様々な活動における効果的なICT活用
- ③様々な生活場面における状況判断と自己管理

- ①目標を明確にし先を見通して、質問や振り返りを大切にしながら解決に向け粘り強く学ぶ
- ②調べ学習・交流・発表等様々な活動で積極的にICTを活用する
- ③ネットや食、健康管理などについて、自分自身を見つめ、自己管理を心がける

- ①質問のしやすさや振り返りの工夫等、わかる・できる授業(課題・見通しの明確化)を進め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る
- ②ICT活用の研修を行い、効果的な活用をすすめる
- ③安心・安全な生活を意識させ、自己管理する力を養う

未知の状況にも対応できる力  
(思考力、判断力、表現力など)

- ①周りの人たちと共に考え、学び、豊かに発想する力
- ②望ましい生活リズム・家庭学習習慣
- ③思いやりの心や、目標をめざしてやり抜く態度

- ①自分の考えを発表したり、相手の意見と比較し、協働してより良く解決する
- ②手帳等を活用してスケジュールを管理し、計画的に家庭学習を進める
- ③道徳の授業内容を自分事として考え、他の意見を聞き、考え方を広げる

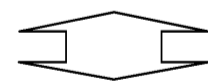
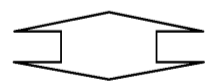
- ①話し合い活動を充実させ主体的、対話的で深い学びを実現する
- ②家庭での状況を確認し、手帳の効果的活用を図る
- ③考え議論する道徳と評価を、学年で計画的に進める

学んだことを人生や社会に生かそうとする力  
(学びに向かう力、人間性など)

- ①心の通い合う集団づくりと望ましい人間関係
- ②自己有用感を高め、自らの将来に見通しを持つ力
- ③伝統を受け継ぎ、発展させる姿勢

- ①仲間と協働し学級・生徒会活動に自主的に取り組み、より良い学校をつくる
- ②自己をみつめ、これからの生き方(進路)について考える
- ③あいさつや合唱・演劇などの伝統を受け継ぎさらに発展させる

- ①集団の中で自分の役割を認識させ、協働できる取組を充実させる
- ②自己の生き方を考え、社会性を育むキャリア教育の充実を図る
- ③生徒会・学級活動等を工夫し、伝統(自ら進んで挨拶・大きな歌声)を継承・進化させる



学びを支える・つなぐ

#### 学校と保護者・地域との協働

- ①保護者・CS等による積極的な学校評価  
・わかりやすいグランドデザインの発信  
・まちこみメールの活用(発信・アンケート)
- ②教育活動に必要な人的・物的資源の活用  
・地域との積極的協働  
(道徳・キャリア教育・体験的学習等)

#### 地域との連携と学校運営の改善

- ①9年間を見通した小中の連携  
・授業交流や出前授業、部活動体験の実施  
・各関係機関(生指・特支・町教研等)との連携
- ②働き方改革の推進  
・行事や業務のスリム化と職員の意識改革  
・部活動のスリム化とガイドラインの徹底  
・部活動顧問の役割分担の工夫と部活動指導員の配置等  
・保護者、地域への周知・理解

#### 家庭の取組

- ①学級・学年通信や通知表、授業参観や行事を通して、子どもの学びの様子を知る
- ②家庭学習を続ける意識を持たせ、努力を認める
- ③家庭での過ごし方(特にネットやゲーム)についてのルールを設定し、守らせる
- ④学校の様子を話題にし、進路についても機会を捉え、子どもと一緒に考える
- ⑤家庭における役割を持たせ、責任を果たさせる
- ⑥自ら進んで明るく挨拶ができる環境をつくる